

<報道発表資料>

令和7年6月18日

京都市文化市民局文化芸術都市推進室文化芸術企画課

公益財団法人京都市芸術文化協会

令和7年度 藝文京芸術教室「夏の学校」の開催

～夏休みに文化芸術に触れる体験をしよう～

京都市及び公益財団法人京都市芸術文化協会では、次代を担う子どもたちを対象として、様々な角度から文化芸術を楽しみながら学んでいただく「藝文京芸術教室」を実施しています。

今年度は、夏休み期間にワークショップなど、文化芸術の多様な楽しみ方を学べる教室を開催します。夏休みに今までに知らなかった文化・芸術の世界を体験いただけます。



バレエ



いまよう
今様



能（囃子）



能（舞と謡）

* 画像は過去に実施した類似事業やプログラムのイメージです。

【藝文京芸術教室「夏の学校」概要】

- 日時
 - A) バレエ 7月25日(金) 午前10時30分～午後0時30分
 - B) 能(舞と謡) 7月31日(木) 午前10時30分～午後0時30分
 - C) 能(囃子) 7月31日(木) 午前10時30分～午後0時30分
 - D) ^{いまよう}今様 8月11日(月・祝) 午前10時30分～午後0時30分
- 場所 京都芸術センター(〒604-8156 京都市中京区室町通蛸薬師下る山伏山町 546-2)
アクセス：地下鉄「四条駅」／阪急「烏丸駅」22・24番出口より徒歩5分
- 参加費 無料
- 持ち物 (全ての教室) 水筒(水分補給用の水・お茶等)、タオル
※各教室に必要な持ち物は、以下各教室詳細をご確認ください。
- 申込 令和7年6月20日(金)～令和7年7月6日(日)に、ウェブサイト
(<https://reg31.smp.ne.jp/regist/is?SMPFORM=ljri-mamgod-ab7148a19777c86e7eea667d487cdce1>)からお申込みください。
※応募多数の場合は抽選となります。抽選結果は、7月11日(金)(予定)に通知します。
- 主催 京都市、京の伝統文化体験実行委員会、公益財団法人京都市芸術文化協会

【藝文京芸術教室「夏の学校」各教室詳細】

A) バレエ / 原美香先生(全京都洋舞協議会)

ダンス Dance ダンス！バレエの基本レッスンを体験して、自分の身体ともしっかり仲良くなるう！

「バレエ」はヨーロッパで発展した伝統的な「舞台舞踊」です。音楽に合わせて、踊りや身振りで物語や感情を表現する「総合芸術」とも言われます。今回は、「はじめてのバレエレッスン」を体験してみます。「バレエは初めて」という人も、男の子も女の子も大歓迎です。

対象：年長児～小学2年生 定員：20名

B) 能(舞と謡) / 公益社団法人能楽協会 京都支部の先生方

“世界で一番古くから伝わる歌舞劇”・能の舞と謡^{うたい}に挑戦しよう！

室町時代から続く能は、オペラやミュージカルの仲間「歌舞劇」です。講師による模範演技を鑑賞した後は、実際に扇を持って舞と謡に挑戦します。

対象：(a)低学年コース(小学1年生～小学3年生)、(b)高学年コース(小学4年生～中学3年生)

定員：各コース12名 持ち物：靴下着用

C) 能（囃子）／公益社団法人能楽協会 京都支部の先生方

“世界で一番古くから伝わる歌舞劇”・能の音楽にふれてみよう！

室町時代から続く能は、オペラやミュージカルの仲間「歌舞劇」です。その音楽は、ひな人形で見たことがある五人囃子と同じく、謡と笛・小鼓・大鼓・太鼓で奏でられます。講師による模範演技を鑑賞した後、それぞれの道具(楽器)の特徴を知って、実際に触って、掛け声を出してみます。

対象：小学1年生～中学3年生 定員：24名 持ち物：靴下着用

D) 今様／石原さつき先生・志野公重先生 他（^{にほんいまようたぶがくかい}日本今様謡舞楽会）

“「今様」って何？”七五調の歌や、平安時代の楽器・衣裳を体験してみよう！

「今様」は平安時代から鎌倉時代に宮廷で流行した歌と舞の芸能です。『越天楽』のメロディーに歌詞を付けた『越天楽今様』は、どこかで耳にしたことがあるかも。白拍子の装束や雅楽で使われる楽器など、平安時代の文化を親子で体験します。

対象：小学3年生～中学3年生とその保護者 定員：10組

持ち物：白足袋（足袋ソックスも可）着用 ※お持ちでない場合は白靴下

<お問合せ先>

本事業に関するお問合せ先

公益財団法人京都市芸術文化協会

電話：075-213-1000

報道機関からのお問合せ先

京都市文化市民局文化芸術都市推進室文化芸術企画課

電話：075-222-3119